

令和5年度

小学校・中学校・特別支援学校

初任者研修シラバス

長野県教育委員会

「Ⅱ 年間研修項目例」を参考に、初任者の実態や学校・地域の実情に応じて選択し、研修計画を立てる。

I 研修内容及び項目

	研 修 内 容	項 目
教師としての基礎	○公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組	1 (1)
	○学習指導要領と教育課程の編成・実施並びに評価	1 (2)
	○学校教育目標の具現化	1 (3)
	○教員の勤務・サービスと公務員の在り方	1 (4)
	○学校の組織運営	1 (5)
	○教員研修と教員としての生き方・在り方	1 (6)
	○教育課題の解決に向けた取組	1 (7)
	○特別支援教育の制度と具体的な取組	1 (8)
	○教育機関や企業等における体験を通じた研修	1 (9)
	○初任者研修の総括	1 (10)
学級経営	○学級経営の意義	2 (1)
	○学級経営の実際と工夫	2 (2)
	○保護者との連携を図った学級経営	2 (3)
	○学級事務の処理	2 (4)
教科指導	○教科指導の基礎	3 (1)
	○授業の進め方	3 (2)
	○授業参観	3 (3)
	○授業研究	3 (4)
動 外 ・ 国 外 語 語 活	○外国語活動・外国語の意義	4 (1)
	○指導計画の作成	4 (2)
	○授業実施の留意点	4 (3)
道徳教育	○道徳教育の基礎	5 (1)
	○特別の教科 道徳の指導（道徳科）	5 (2)
特別活動	○特別活動の教育的意義・指導計画・授業の実際	6 (1)
	○学級活動の指導と評価	6 (2)
	○児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価	6 (3)
学 習 の 時 間 総 合 的 な	○趣旨・ねらい	7 (1)
	○全体計画及び年間指導計画の作成	7 (2)
	○学習活動の進め方	7 (3)
	○評価の特質と評価方法	7 (4)
I C T 活 用 キ ャ リ ア 生 徒 指 導 教 育	○生徒指導	8 (1)
	○キャリア教育	8 (2)
	○I C T活用	8 (3)

Ⅱ 年間研修項目例

1 教師としての基礎

(1) 公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○公教育の概念理解と教育公務員としての使命	1～2	1	○公教育の制度的概念や理念的概念を理解し、勤務校の実情を踏まえ自らの使命を表明できる。 ○教育公務員としての責務や行動規範に基づき行動できる。	○教育法規 ○長野県総合教育センター要覧 ○総合的な学習の時間が設定された根拠等	校長 教頭
○教育改革の背景と学校教育の改善・充実	1～2	1	○我が国と諸外国の教育改革の動向を調べ、それらと関連付けながら自校の取組や成果、課題等を述べるができる。 ○児童生徒の学習や生活の状況を分析し、生きる力などを育むための方策等について理解する。		
○教育基本法等に示された目的と学校教育目標との関連	1～2	1	○教育基本法や学校教育法等と県の教育目標や方針・重点等と、自校の教育目標や指導の重点等との関係を比較し、自校の特色等を説明することができる。	○教育法規 ○初任者研修の手引 ○学校経営概要	校長 教頭
○家庭教育等の現状と学校教育の果たす役割	1～2	1	○家庭教育や社会教育の役割と、学校教育との連携方策についての課題や期待される効果などから、自校の課題解決に向けた取組や方策を理解する。	○学校自己評価 ○学校評議員制度	校長 教頭
○教育施策の達成目標と学校の取組	1～2	1	○県の教育目標とその具現化を図る教育施策の関連をまとめ、自らの課題や担当する業務などの側面から、その実現状況を評価できる。	○県教育目標 ○教育委員会の施策等の内容について確認し合う。	校長 教頭

(2) 学習指導要領と教育課程の編成・実施並びに評価

※以下「各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等」を、「各教科領域等」と表記する。

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○学習指導要領の法的位置付け ○学習指導要領の趣旨・ねらい	1～2	2	○学習指導要領に関する関係法令等から、その位置付けや基準性、意義や役割を理解し、教育課程編成・実施の根拠等を説明できる。 ○学習指導要領の趣旨・ねらいを理解する。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「生きる力」文部科学省	教務主任 教科主任 指導教員等
○各教科領域等相互の関連と指導計画作成の留意点	1～2	2	○各教科領域等の目標や内容、活用する教材との関連を重視した指導計画が生み出す価値や効果について理解を深め、自校の指導計画のよさや課題を指摘できる。		
○個に応じた指導の充実	1～2	2	○実際の学習指導案や教材、指導事例等をもとに、学習の評価を踏まえた、補足的な学習・発展的な学習など個に応じた指導の在り方や配慮事項を整理し、指導に生かすことができる。	○自校の研究紀要	教務主任 教科主任 指導教員等
○指導と評価の一体化・教育課程の自己点検・自己評価	1～2	2	○児童生徒の学習状況等を適切に評価し、その後の指導に生かすための具体的な手順、方法等を理解する。 ○評価の結果を児童生徒や保護者に公表するなど、児童生徒の学習状況を伝えることの重要性を理解する。 ○教育課程の自己点検・自己評価の重要性について理解する。	○自校の評価規準 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料	教務主任 教科主任 指導教員等
○学習指導要領と教科書	1	2	○小中学校及びこれに準じる学校において、教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材として教授用に供せられているものであることを理解する。	○学習指導要領及び解説 ○教科書	教務主任 教科主任 指導教員等

(3) 学校教育目標の具現化

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○学校教育目標設定の背景と課題	1～2	1	○各種の資料や情報をもとに、児童生徒や地域の実態、目指す児童生徒像と学校教育目標との関連を分析し、その実現を図る観点や方法を理解する。	○学校教育目標の設定資料	校長 教頭 教務主任
○学校経営の目標や方針等との関連	1～2	1	○学校教育目標と学校経営計画に示された目標や方針との関連を分析し、それらを踏まえた学年や学級、教科等の経営の在り方を理解する。	○学校教育目標 ○学校経営概要	校長 教頭 教務主任
○学校教育目標を具現化する指導計画の在り方	1～2	1	○学校教育目標を踏まえた各教科・領域等の指導計画作成や指導計画に基づく授業等の進め方など、実際の指導計画や学習指導案をもとに、その要点を指摘することができる。	○年間指導計画 ○教科運営計画 ○自校の研究紀要	教務主任 指導教員等
○学校教育目標と学年・学級並びに教科等の目標	1～2	1	○学校教育目標と教科等の目標・内容と学年・学級目標に基づく活動等の関連などを踏まえ、組織的に教育活動を展開するための方策等について理解する。	○学年経営案 ○学級経営案	教科主任 学年主任 指導教員等
○学校教育目標と学校評価の関連	1	1	○学校教育目標と、各自治体における学校評価の制度との関わりについて理解する。 ○PDCAサイクルにより、目標管理型の学校運営が導入されつつあることについて理解する。	○学校自己評価	教務主任 指導教員等

(4) 教員の勤務・サービスと公務員の在り方

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○教育職員の身分と使命 ○教員としての心構え	2～3	1	○地公法や教特法の法制の目的や意義を理解し、教育公務員として行動規範等を身に付ける。 ○先輩教員の指導・助言の生かし方など、教職員間の人間関係づくりに努めることができる。 ○児童生徒や保護者、地域の実態、学校教育への期待等を把握し、適切に対応できる。 ○児童生徒との活動にいきいきと携わることができるよう心身ともに健康な状態を維持できる。	○地方公務員法 ○教育公務員特例法 ○接遇についてのロールプレイング等	校長 教頭 教務主任
○教育公務員の勤務と給与 ○県費負担教職員制度	1～2	1	○教員の勤務時間や、休息、休憩、休暇の取得、超過勤務等に対する措置・サービス内容・職員関係、サービス命令等について正しく理解し、適切に勤務する。 ○一般の公務員制度との相違点(特例事項)とその意義等を理解し、適正に勤務する。	○長野県教育関係職員必携	校長 教頭 事務職員
○人事異動の意義と性格 ○教員評価制度	1～2	2・3	○人事異動を行う意義やキャリア形成について概観し、教育職員としての社会的使命を果たすことや、人事異動が教育経験を豊かなものにするなどの効果について理解する。 ○地公法に示された職員の勤務評定に鑑み、教員の能力開発を目指した評価(人事考課)制度を理解し、教員として期待される資質や能力を身に付ける。	○教職員等人事異動方針	校長

(5) 学校の組織運営

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○教育行政(管理規則)と学校の関係	1～2	1	○国や地方の教育行政と学校及び教員に係る関係法規・判例等から、公教育を担う教員として自らの責務を果たしていることや日常の職務遂行状況を説明できる。 ○日常の教育活動や生徒指導等の事例と管理規則等との関連を理解し、学校が組織として公教育を行っていることを説明できる。 ○校長・教頭・主任等の職務内容や職員会議、初任者研修と指導教員の職務等に係る関係法令などの理解を深め、学校組織として職務に専念する。	○長野県教育関係職員必携 ○市町村教委管理規則	教頭 教務主任
○校内組織の在り方	1～2	1	○校務分掌が学校教育目標達成のための組織上の仕組みであることを理解し、担当する分掌と教員としての責務の関係を説明できる。 ○組織の一員として協働していく重要性を理解し、協働していくための方途や手立てを講じることができる。 ○校内諸規定のねらいや意義を確認し、それらが学校の実情に即して作成され、適正に運用されているかどうか吟味できる。	○職員会議資料 ○校務分掌及び各係案	教務主任 指導教員等
○学校の教育環境づくり	1～2	2	○学習指導要領や人権教育等に関する指導資料等をもとに、児童生徒の実態を踏まえ、言語環境や学習環境(栽培園、飼育舎など)を整備し、日常の教育活動を改善・充実することができる。 ○多目的オープンスペース等の意義や余裕教室の活用を含め、それらを組織的に有効かつ円滑に活用する方途や規定等を理解し、意図的・計画的に活用することができる。	○学校経営概要 ○特色ある施設・設備 ○信州“Basic” ○学習指導要領	教務主任 指導教員等
○家庭や地域社会との連携 ○学校間交流の推進 ○障がいのある児童生徒や高齢者との交流 ○学校運営と学校評議員 ○情報公開と説明責任 ○信州型コミュニティースクール	1～3	2	○学校は、家庭や地域の人々とともに児童生徒を育てていくという視点に立ち、開かれた学校づくりをすすめていく必要があることを理解する。また、学校評議員会等の外部組織の意見等を学校運営に生かしていく必要があることを理解する。 ○学校・家庭・地域社会がそれぞれ本来の教育機能を発揮し、相互にバランスのとれた教育が行われるよう、学校は家庭、地域社会との連携を深め、学校内外を通じた児童生徒の生活の充実と活性化を図ることの大切さを知る。 ○学校は児童生徒の健全な育成を推進するため、校内の様々な情報を積極的に発信し、公教育における取組に対して説明責任を果たさなければならないことを理解する。	○学校評議員会資料 ○育成会資料 ○学校自己評価 ○長野県情報公開条例	指導教員等
○学校の危機管理と組織的対応	1～3	1	○学校事故防止と安全対策等のマニュアルの理解や非常時の組織的行動と役割等を理解し、行動できる。(食物アレルギー対応、感染症対策を含む) ○日常の安全点検と児童生徒の行動等の観察等の具体的方法、危機対応の際の行動規範等を理解し、自らの対応をシミュレーションすることができる。	○学校安全対策マニュアル ○模擬訓練等 ○食に関する指導の手引～第2次改訂版～	教頭 教務主任 養護教諭 栄養教諭
○PTA組織と運営への参画	1～2	1・2	○PTA役員等と懇談し、組織のねらいや意義、事業や課題、全国組織の動向などを理解する。 ○所属校のPTA活動に参画し、保護者や地域の信頼を高めるなど、学校教育の充実に努める。	○会則 ○運営の方針	教頭 PTA 担当

(6) 教員研修と教員としての生き方・在り方

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○学校の特色や地域の実態と教員としての心構え ○社会人としての接遇の仕方 ○各種の届出や教材・教具、施設設備の管理と活用 ○指導要録その他の諸表簿の取扱い方	1～2	1	○勤務校の実情や地域の実態を調べ、自らの使命を再検討し、教員としての在り方を明確化できる。 ○接遇の仕方(来客への対応、電話のかけ方)の演習を行い、教員(社会人)としての自覚を高め、誇りを持つことができる。 ○先輩教員の指導・助言等を積極的に受け入れ、良好な教員間の人間関係をつくることのできる。 ○施設、設備、教材・教具等の管理や有効活用を図るとともに、事故防止のための指導法や点検等の技能を身に付ける。 ○各種文書等の作成、整理、保管等を的確に行うための技法を身に付ける。	○学校要覧 ○PTA運営の方針等資料 ○接遇についてのロールプレイング ○学校安全対策マニュアル ○危機管理マニュアル ○学校安全指導資料 - 等	教頭 教務主任 指導教員等
○児童生徒、保護者及び地域社会等の期待と信頼 ○教員同士、教員と児童生徒の人間関係	1～2	1	○授業研究やカウンセリング等の実践を通して、指導技術、カウンセリングマインドや物事の是非を教える技術を身に付ける。 ○授業や生徒指導等の事例から、自らの研修課題を掘り起こし、これを解決していくための研究や研修を行い、日常の教育活動の改善・充実に生かすことができる。 ○先輩教員等の助言を生かし、地域の活動やPTA等との関わり、学校内外の信頼関係を確立するために寄与できる。	○初任者研修のために ○自校の研究紀要 ○学習指導要領及び解説 ○研究会、教科会等 ○カウンセリングについてのロールプレイング - 等	学年主任 生徒指導担当 相談室担当 指導教員等
○教員研修に関する法令とキャリアプラン	1～2	3	○教員研修の関係法令を理解し、自らのキャリアステージを視野に入れた研修計画を立て、具体的・実践的な研修・研究に努め、教員としての資質や指導力を身に付ける。	○長野県教員研修体系 ○キャリアステージに応じた研修プラン ○長野県教員育成指標ガイドブック	指導教員等
○自校の課題解決に向けた研究・研修	1～2	2・3	○自校の課題解決に向け、校内研修・研究に主体的に参画し、教育研究の手法等の技法を身に付ける。 ○自己の職能成長に関する課題と校内研修・研究の関連を明確化し、実践能力や専門的知識・技術を身に付ける。	○自校の研究紀要 ○長野県教員育成指標ガイドブック	研究主任 指導教員等

(7) 教育課題の解決に向けた取組

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○歴史、法的措置等と現状 ○人権教育の実践的課題	1～3	2	○我が国の人権課題と学校における人権教育の基本的理念及び指導上の課題等について理解を深め、日常の教育活動で課題解決に向けた取組を進めることができる。 ○各教科、道徳、特別活動等と人権教育の関連を理解し、具体的に人権教育を進めるための指導方法等を身に付ける。	○「集まってひとつの花」生徒指導・人権教育取組事例集～いじめのない集団づくりのために～ ○長野県教育委員会人権教育指導資料集 ○年間指導計画 ○自校の研究紀要	人権教育担当 指導教員等
○環境教育の意義と役割 ○各教科等における環境教育の指導	1～2	2	○持続可能な開発のための教育(E S D)において、持続可能な社会の構築が強く求められていることを踏まえ、環境問題を総括的に理解するとともに、環境教育の意義と役割を理解し、学校における環境教育の基本的な考え方、進め方を身に付ける。 ○各教科、道徳、特別活動等と環境教育の関連を理解し、具体的に環境教育を進めるための指導方法を身に付ける。	○授業に活かす環境教育(環境省ホームページ)	環境教育担当 指導教員等

○教育の情報化の意義 ○情報社会の課題への対応	1～4	2	○情報社会の特性を理解し、情報化の影の部分にも配慮して指導することができる。 ○各教科等の目標達成のために情報機器を活用することができる。 ○各教科等の指導の中で児童生徒に情報活用能力を育成するための指導方法を身に付ける。 ○情報機器の特性と、校務分掌及び学級事務における効果的な活用について理解する。	○文部科学省「教育の情報化」ホームページ ○長野県教育委員会ホームページ ○長野県総合教育センターホームページ（教育情報） 等	情報教育担当
○教育の国際化の意義 国際社会の課題への対応	1	2・3	○適切な教材を選定し、児童生徒が我が国や郷土の伝統・文化について調べたり、自分なりの意見を持ったりすることができるような教育を行う能力を身に付ける。 ○諸外国・地域の歴史・伝統・文化について適切な事例を収集する能力や日本と異なる文化、歴史に立脚する人々に対しても敬意を払うような態度を育成するための指導方法を身に付ける。	○CLARINET（文部科学省） ○かすたねっと（文部科学省）	国際理解教育担当
○帰国・外国人児童生徒等の受け入れに係る課題への対応 ○日本語指導及び教科指導	1	2・3	○外国での就学形態や教育内容・方法などをふまえ、児童生徒の一人一人の実態を的確に把握し、児童生徒が学校生活に適用できるように配慮することができる。 ○当該児童生徒の実態に合わせて、日本語指導及び教科指導において、最適な方法を選択し、学習の成果を上げるための指導方法を身に付ける。	○CLARINET（文部科学省） ○かすたねっと（文部科学省） ○外国人児童生徒受入れの手引き	国際理解教育担当
○学校保健・学校安全の意義とねらいや内容 ○指導計画作成の留意点 ○指導の進め方	1～3	1・2	○保健指導のねらいと内容を理解し、教材や指導方法を身に付ける。（保健教育） ○健康の保持増進に努める態度や意欲を育てる方法を学び、実際の指導に生かすことができる。（保健管理） ○各教科・領域等と安全に関する内容との関連を十分に図り、指導できる。（安全教育） ○事故を未然に防ぐための指導や事故等発生時の適切な手当てや措置ができる。（安全管理）	○学校保健・安全・給食指導資料 ○食に関する指導の手引—第2次改訂版—（文部科学省） ○栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育（文部科学省）	養護教諭指導教員等
○食に関する指導と給食指導の意義とねらいや内容 ○指導計画作成の留意点 ○指導の進め方	1～2	1・2	○学校教育全体で行う「食に関する指導」の意義やねらいと内容を理解し、教科と連携した効果的な指導方法を身に付ける。 ○学校給食を「生きた教材」として、給食時間を活用した食に関する指導を行うことができる。		栄養教諭指導教員等
○県・市町村などの教育課題と教育施策 ○課題解決のための実践	1～2	2・3	○県や市町村などの様々な教育課題やその解決に向けた施策等について理解を深める。 ○課題解決に向けた具体的な取組を参考とし、授業における実践につなげることができる。	○市町村の広報 ○教育委員会のホームページ	校長 教頭 指導教員等

(8) 特別支援教育の制度と具体的な取組

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○障がいの特性の理解 ○通常の学級における特別な教育的ニーズに応じた指導 ○個別の指導計画の作成・活用・評価 ○障害者差別解消法の施行に伴う合理的配慮の提供	2～4	1・2・3	○学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・自閉症スペクトラム障害等を含む様々な障がいの特性について理解する。 ○通常の学級において配慮が必要な児童・生徒の指導・支援で留意すべき具体的な事項をまとめることができる。 ○個別の指導計画の作成・活用・評価の手順から、個に応じた指導の意義と合理的配慮の提供の重要性を理解する。	○特別支援教育教育課程学習指導手引書 ・共通・連携編 ・小学校・中学校編 ・特別支援学校編 ○合理的配慮実践事例集 ○「特別支援教育シリーズ」 ○発達障害児等を支える指導・支援事例集	特別支援教育担当指導教員等

○校内支援体制の構築を活用した適切な支援の在り方 ○外部の専門家や関係機関との連携 ○個別の教育支援計画の作成	1～3	1・2・3	○実態把握等を行う校内委員会の役割や、特別支援教育コーディネーターの役割について理解し、効果的な指導や学級経営に生かすことができる。 ○巡回相談、専門家チームからの支援や関係機関との連携について理解し、教育活動に生かすことができる。 ○個別の教育支援計画の意義や内容について理解する。 ○保護者との連携の在り方を知る。	○特別支援教育教育課程 学習指導手引書 ・共通・連携編 ・小学校・中学校編 ・特別支援学校編 ○「自律教育シリーズ」 ①第1集 ②第2集 ③第3集	学級担任 指導教員
○特別支援学校、特別支援学級・通級指導教室の制度や教育課程の編成 ○特別支援学校、特別支援学級及び通級による指導における参観 ○就学の仕組			○特別支援教育に関する制度について理解する（センター的機能、免許制度等） ○通級による指導や特別支援学級の制度上の位置付けを理解し、教育制度編成上の特例等の理解を図り、それぞれの教育の意義を理解する。 ○交流及び共同学習の教育的効果及び意義を理解する。 ○個別の指導計画に基づいた、個に応じた指導の在り方について理解する。 ○就学の仕組を理解し、個に応じた適切な教育を推進することができる。	○「特別支援教育シリーズ」 ①第1集 ②第2集 ③第3集 ○特別支援教育 学習指導要領サポートブック ○特別支援学級ガイドライン ○特別支援教育コーディネーターハンドブック ○教育支援ハンドブック ○発達障害児等を支える指導、支援事例集 ○通級指導ハンドブック ○合理的配慮実践事例集 ○「適切な学びの場」ガイドライン	特別支援教育担当 特別支援教育コーディネーター

(9) 教育機関や企業等における体験を通じた研修

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○特別支援学校等の参観 ○福祉施設や企業等での体験 ○社会活動等への参加 ○他校種の参観等	6～9	1・2・3	○宿泊研修や長期にわたる研修における体験研修を通して、自らの識見や指導力を高める。 ○外部機関等の参観を通し、交流や連携の方法を学び、教育課題等の解決につなげることができる。 ○様々な社会体験をもとに、自らの教職生活にとって重要と思われる事項を見つけ、これを教育活動に生かすことができる。	○特別支援学校、自立支援施設等の要項 ○参観した諸学校、施設等の資料 等	参観した諸学校や施設等の職員 地区初任研修推進委員等
○職能成長を図るための課題の設定と取組	3～4		○教育実践や校内における研修や研究を踏まえ、自らの職能成長を図るための課題を設定し、研修の機会や場を見つけ、主体的に研修・研究に取り組むことができる。	○自己課題の設定 ○実践事例 ○体験研修の際の資料 等	地区初任研修推進委員等 指導教員等

(10) 初任者研修の総括

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○体験発表会 ○プレゼンテーション資料の作成等	1～2	3	○校内研修報告やプロGRESS研修等で、再度、教師の在り方、心構え、使命感を高めることができる。 ○自己課題を明確化し、具体的な取組内容や成果・課題を提示できる。 ○自らの実践記録を取ることの意義・方法を認識し、記録を整理する。	○出席した研修会の資料 等	指導教員等

2 学級経営

(1) 学級経営の意義

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○学級経営の理解 ○学級経営の内容(学級目標の設定、好ましい人間関係や集団づくり、学習指導、生徒指導、教室環境の整備、保護者との連携、各種学級事務など)の理解 ○学級経営の役割と意義	1～2	1	○学級経営の内容とその重要性を理解し、学級の実態に即し、自分の持ち味を生かして、積極的によりよい経営に努める。	○学級経営案	学年主任 指導教員等
○学級経営案の作成に当たっての留意事項(学級の実態把握、個々の児童生徒の状況の把握、実態に即した課題の見定め、学校の教育目標に即した学級目標の設定、具体的な構想や手だての明確化)などの理解 ○学級経営案の活用と評価(経営案の実践化や評価の工夫、学級経営案の修正・改善など)の理解	1～3	1 2 3	○学級経営の各内容について、適切な方法で学級の実態を把握する。 ・○学校教育目標に即して、学級の実態を踏まえた適切な学級経営案を作成できる。 ・○学級経営案に即して実践を進めたり、定期的に評価したりして、実践の改善を進めることができる。	○学級経営案 ○情報交換	
○学年経営(作成と評価)の理解 ○学年経営とのかかわり(学年経営案、学年会、学年行事、学級王国の問題など)の理解	1～2	1 2 3	○学年経営案を理解し、学級経営を進めることができる。 ○学年会での共通理解を大切に、他の学級と協調しながら学級経営を進めることができる。	○学級経営の反省と評価 ○学年経営案	

(2) 学級経営の実践と工夫

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○当番活動(清掃、給食、学習、日直などにかかわる仕事)の組織づくり ○係活動(各種の学級生活を豊かに楽しくするための、児童生徒による自主的な活動)の組織づくり ○生活集団と学習集団のつくり方や各種小集団活動の効果的な方法や内容	2～3	1	○学級目標の達成を目指し、児童生徒に役割を分担し、生活や学習集団を組織編成するとともに、それらの組織が効果的に機能できるよう努めることができる。	○学級の組織表 ○みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)リーフレット版	学年主任 指導教員等
○教師と児童生徒が協力して創る教室環境づくりの工夫(作品等の掲示、互いのよさを認め合える場や児童生徒の自主的な活動を促す場の設定など)	2～3	1	○必要に応じて児童生徒と相談をしながら、児童生徒が安全に、衛生的・機能的に学級生活や学習が展開できるような教室環境をつくること	○ベテランの先生のよい実践例等	

○児童生徒による学級生活目標づくり ○朝の会や帰りの会のプログラムと運営 ○学級の約束やルールづくり ○学級日誌や班日誌、教室内での飼育、栽培活動	1～2	1	○自主的に学級生活目標を設定し、よりよい学級生活をみんなで協力して築こうとする児童生徒の活動をつくり、効果的に運営できるように努めることができる。	○実践事例	学年主任 指導教員等
○児童生徒、保護者の期待する教師像 ○児童理解、生徒理解の工夫 ○児童生徒と「給食、清掃、休み時間や放課後、クラブや部活動、日記、連絡帳など」を通して信頼関係を築く努力 ○効果的な誉め方、叱り方	2～3	1 ・ 2 ・ 3	○児童生徒、保護者が期待する教師像を理解し、適切な児童生徒理解を通してそれぞれの児童生徒の長所や短所を見極め、個々の児童生徒の状況に即して、一人一人に寄り添いながら温かく接したり関わったりすることができる。	○実践事例	学年主任 生徒指導 担当 指導教員等
○一人一人の児童生徒の居場所づくり(児童生徒の活躍の場、認められる場、個性が発揮できる場、人間的な触れ合いができる場など) ○望ましい仲間づくり(望ましいリーダー、共に助け合う支持的風土、学級の規律など) ○人間関係づくりのためのゲームやレクリエーションなどの実際	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○児童生徒一人一人のよさが生かされ、児童生徒が級友の励ましの中で自己実現が図れるような学級集団(人間と人間の好ましい関係や雰囲気とその関係等を生かした各種の活動)づくりに努めることができる。	○事例研究会 ○「教育指導時報」等	学年主任 指導教員等
○清掃、給食、休み時間、朝や帰りなどの指導 ○健康や安全に関わる指導 ○けんかや対立など人間関係改善への指導 ○個別に配慮を要する児童生徒への指導	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○日頃から児童生徒の学級生活の状況をよく観察し、学級生活上の課題を見定めるとともに、ねばり強く適切な指導、支援をすることができる。	○危機管理マニュアル ○教師自身が作る生徒指導マニュアル	学年主任 生徒指導 担当 指導教員等

(3) 保護者との連携を図った学級経営

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○授業参観や保護者会のねらい ○授業参観や保護者会の内容や進め方 ○ねらいを達成するための、資料、交流、意見交換などの工夫	1～2	1	○授業参観や保護者会のねらいを理解し、そのねらいを達成するために様々な工夫をするとともに、自信をもって実施する。	○実践事例	学年主任 指導教員等
○学級通信の果たす役割とその効果 ○学級通信の作成上の配慮事項 ○学級経営に生かす学級通信の工夫	1～2	1	○学級通信の役割や効果、作成上の配慮事項などを理解し、保護者の理解と協力が得られるような、よりよい学級経営に生かす学級通信を作成し発信する。	○学級通信	学年主任 指導教員等
○家庭訪問、個人面談、個別の相談などの体系や行い方 ○児童生徒の様子を的確に伝えるための方法の工夫	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○保護者の話をよく聞き、信頼関係を築くとともに、保護者と共に児童生徒のよりよい育成を目指す立場を意識しながら、個々の家庭や児童生徒の状況に即した適切な助言できる。	○個人面談のロールプレイング等	教務主任 学年主任 指導教員等

(4) 学級事務の処理

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○年度当初の学級事務の内容と留意事項 ○時間割表、学級通信、児童生徒名簿、緊急連絡網、当番表などの作成における配慮点 ○学級日誌の点検と管理、提出物や集金の処理と管理、週案などの作成における留意点	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○年度当初の学級事務の内容や留意事項を理解し、適切に処理できる。	○年度当初の職員会議資料及び学年会資料	教務主任 学年主任 指導教員等
○成績等の諸表簿に関する学級事務の内容と留意事項 ○通知票の性質の理解と通知票の作成上の留意点、通知票の渡し方、生かし方など ○指導要録の機能、指導要録に関する法的な規定、指導要録の作成上の留意事項、管理及び守秘義務など ○出席簿、健康診断票や歯の検査票等の適正な処理	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○成績等の諸表簿に関わる学級事務の内容と留意事項を理解し、適切に処理できる。	○学年会資料 ○指導要録記入の手引き ○初任者研修のために	教頭 教務主任 学年主任 養護教諭 指導教員等
○学期末や年度末の学級事務の内容と留意事項 ○諸表簿(出席簿、成績一覧表、指導要録)の整理と提出及び管理、学級会計報告など	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○学期末や年度末の学級事務の内容と留意事項を理解し、適切に処理できる。	○学年会資料	教頭 教務主任 学年主任 指導教員等
○情報機器利用の意義と役割 ○情報機器の活用による学級事務の効率化と危機管理	1	1	○情報機器の特性を理解し、学級事務において効果的な活用と危機管理ができる。	○情報教育資料 ○セキュリティ管理にかかわる資料	情報教育係等

3 教科指導

(1) 教科指導の基礎

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○児童生徒理解に関する技術	2～3	1	○児童生徒の実態把握の仕方について理解する。 ○発達段階に応じた児童生徒の実態の特徴について理解する。 ○効果的な教科指導を行うための教師の視線や教室内の立ち位置などについて工夫できる。	○学習指導要領及び解説 ○授業研究会、生徒指導事例研究会等の資料 ○信州教育学びの基盤 ○自校の研究紀要、公開授業指導案 ○指導教員や校内の教員の指導案、教材、補助資料	学年主任 教科主任 指導教員等
○話し方に関する技術	1～2	1	○各学年の発達段階に応じた正しい言葉を使って話すことができる。 ○児童生徒の興味関心を引く話し方を工夫できる。 ○声の抑揚や大小などに気を付け、指導内容がはっきりと伝わるように話すことができる。		
○聞き方に関する技術	1～2	1	○上手な話の聞き方や話の引き出し方について理解する。 ○話を聞くときの姿勢や目線について理解する。		
○書き方に関する技術	1～2	1	○正しい文字や筆順について理解する。 ○各学年で学習する新出漢字を把握し、適切な漢字の使い方について理解する。		

(2) 授業の進め方

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○発問の仕方 ○指名の仕方 ○話し方	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○児童生徒の多様な意見を引き出す発問の仕方を工夫できる。 ○自分の考えをもって話し合う活動を通して、児童生徒が自分の考えを広げたり深めたりするための教師の指導の在り方について理解する。 ○説明や解説、発問、意欲の喚起等について、話し方のコツを学び、授業中の実践につなげることができる。	○発問計画 ○指名計画 ○信州教育学びの基盤 ○信州“Basic” ○初任者研修のために ○授業のVTR	教科主任 研究主任 指導教員等
○板書の工夫 ○資料の活用法 ○ノート評価の仕方	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○本時のねらい・見通し・まとめを位置付け、1時間の追究の過程が分かるように板書することができる。 ○掲示資料や配布資料の内容や提示方法について学び、効果的に資料を活用できる。 ○ノート点検において、児童生徒の意欲を喚起するコメント等の書き方や評価の仕方を身に付ける。	○板書計画や実際の写真 ○信州教育学びの基盤 ○信州“Basic” ○初任者研修のために	
○学習指導案の作成の仕方 ○指導に基づく細案の立て方	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○教材の特性やねらいと児童生徒の実態に関連させた指導目標を立てる。 ○単元や題材全体の構成や学習過程の構成を工夫できる。 ○板書計画、学習の場の構成、発問等を工夫できる。 ○単元や題材、各時の目標に応じた評価の観点をもって授業を展開できる。 ○発問や板書、予想される児童生徒の反応などを視野に入れた学習指導細案を作成できる。	○研究会資料 ○公開授業指導案 ○信州教育学びの基盤 ○教育課程編成・学習指導の基本	
○児童生徒の反応の捉え方 ○机間指導を通しての児童生徒の理解の仕方 ○ノートの利用の仕方 ○学習カードの在り方	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○様々な児童生徒の反応に対応できるよう多様な指導の仕方を考えることができる。 ○効果的な机間指導により個に応じた指導を行うことができる。 ○発達段階に応じてノートの書き方や整理の仕方について指導できる。	○研究会資料 ○自校の研究紀要 ○信州“Basic” ○自作の学習カード	
○授業評価の在り方 ○児童生徒の記録や作品の分析方法	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○授業前の診断的評価と事後の総括的評価を対比させ、問題点や改善点を自己認識し、授業改善に努めることができる。 ○児童生徒の学習記録や作品等を分析し、今後の指導方法の改善に努めることができる。 ○児童生徒が自身の成長を把握できるよう、学習過程における形成的評価を行うことができる。	○公開授業指導案 ○自校の研究紀要 ○自己評価に重点を置いた指導案等 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料	
○授業づくりの基礎 ○教材の収集・選択・分析の方法 ○教材化の工夫	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○教材の特性と児童生徒の関心とを効果的に関連付け教材化できる。 ○教材の特性を踏まえ、単元構成や学習過程、評価の在り方を工夫し、学習指導案を作成できる。 ○教材の収集・選択・分析の手法を理解し、授業での効果的な活用の仕方を理解する。 ○教材の提示や活用の仕方、配列を理解し、学習目標に迫るために教材化できる。	○自校の研究紀要 ○教材研究 ○信州“Basic” ○教育課程編成・学習指導の基本 ○信州教育学びの基盤 ○信州型ユニバーサルデザイン研修シリーズ	
○教材の系統性 ○教材の組み立て方 ○教材に応じた発問について	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○検定教科書が学習指導要領に準拠して組織配列された指導に用いる指導教材であることを理解し、その活用方法を身に付ける。 ○教材の系統性や組み立てを踏まえた教材研究の方法を身に付ける。 ○児童生徒の学習に対する興味・関心・意欲を喚起し、学習を深化させる教材開発ができる。	○教科書 ○学習指導要領及び解説	

○テストの作成の仕方 ○評価の仕方 ○通知票の記入の仕方	3～6	1 ・ 2 ・ 3	○学習内容及び、思考力、判断力、表現力等をはかるテストの作成や構成、実施結果の処理方法を身に付ける。 ○通知票への評価の記入や所見の書き方を身に付ける。	○教科会資料 ○学年会資料	
○情報機器利用の意義と役割 ○コンピュータの特性と利用法	2～9	1 ・ 2 ・ 3	○教科指導における情報機器の果たす意義や役割について理解する。 ○情報機器の特性と効果的な活用の概要を理解する。 ○教材提示装置やデジタルコンテンツ等の機械の操作法を知り、その特性を生かした効果的な利用法を理解する。	○教育の情報化に関する手引（文部科学省） ○長野県総合教育センターホームページ ○小学校プログラミングガイド「やってみよう！」	研究主任 情報教育係 指導教員等
○「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの視点について ○課題や発問と反応について ○資料提示や板書と反応について	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○学習する子どもの視点に立ち、資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を意識することができる。 ○学習意欲を高める課題設定や発問を行うことができる。 ○効果的な資料提示のタイミングや、構造的な板書を行うことができる。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○自校の研究紀要 ○公開授業指導案 ○信州“Basic” ○信州型ユニバーサルデザイン研修シリーズ ○NITS 子どもと共に創る授業を磨く	教科主任 研究主任 指導教員等
○共同追究の効果 ○グループ学習の効果 ○個別学習の意義 ○個に応じた指導の在り方	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○それぞれの学習形態の効果と問題点について学び、担当する児童生徒の実態や教材の特性と関連付け、実践例の検討を通して共同追究・グループ学習・個別学習の場を効果的に位置付けることができる。 ○児童生徒のレディネスやスキルを的確に把握し、個に応じた指導を行うことができる。	○自校の研究紀要 ○教科会資料 ○公開授業指導案 ○信州“Basic” ○信州型ユニバーサルデザイン研修シリーズ	
○教育評価の在り方 ○指導に生かす評価について ○評価の実践	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○「指導と評価の一体化」について、実践を通じて理解する。 ○様々な評価方法を、児童生徒の学習方法に基づいて活用する技術を身に付ける。 ○単元前後の児童生徒による授業評価の実施や評価結果の分析を通じて、自己の授業改善に努めることができる。	○学習指導要領及び解説 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 ○信州教育学びの基盤 ○信州“Basic” ○初任者研修のために	教科主任 指導教員等
○教材の作成の仕方 ○教材の効果的な提示の仕方	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○導入部分での児童生徒の意欲を喚起する教材提示、授業の山場で児童生徒の考えを揺さぶる発問や教材、授業のまとめで学習内容が児童生徒に定着する教具など、学力向上に有効な教材・教具の開発に努めることができる。	○学年会資料 ○研究会資料 ○公開授業指導案 ○信州教育学びの基盤 ○信州型ユニバーサルデザイン研修シリーズ	
○学期ごとの授業の反省	3	1 ・ 2 ・ 3	○授業に関する知識や技術の習得状況を自己診断できる。	○実践事例	指導教員等
○年間実施授業の反省と改善点の検討 ○指導目標と指導内容の反省、及び改善点の検討 ○単元や題材ごとの指導目標と指導内容の反省、及び改善点の検討 ○カリキュラム改善の検討	2～4	1 ・ 2 ・ 3	○年間の授業実践を振り返り、指導内容や時数の配分等について改善箇所の検討ができる。 ○各教科の目標を達成するため、バランスのとれた指導計画となるよう、今年度の実践を反省検討して改善できる。 ○単元ごとの実践を振り返り、目標設定・単元構成や学習過程の組み方、学習内容・学習評価の仕方・時数の配分等について反省検討を加えて改善できる。 ○教科間の内容や資質・能力の関連を確認し、児童生徒の習得・活用・探究の過程を踏まえたカリキュラムとなるよう検討し改善できる。	○実践事例 ○自校の研究紀要 ○教育課程編成・学習指導の基本	教務主任 教科主任 学年主任 指導教員等

(3) 授業参観

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○指導案の書き方や内容に関する参観前の視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○教材観(単元観)と児童生徒観と指導観の関連や、単元全体の構成の仕方、課題設定と評価の関連などが、どのように指導案の上で表現されているかについて理解する。	○自校の研究紀要 ○各教科研究会 ○公開授業指導案 ○指導教員や他の教員の示範授業 ○信州教育学びの基盤 ○教育課程編成・学習指導の基本	指導教員等
○授業の雰囲気づくりに関する観察視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○学級全体の把握の仕方や、個々の児童生徒への対応の仕方を学ぶ。 ○発問の仕方や児童生徒の回答に対する受け答えの仕方を身に付ける。		
○1時間や単元全体の授業構成に関する参観視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○導入から本時のねらいへの流れや授業の山場づくり、まとめ方と評価の仕方など全体的な構成について理解する。		
○課題設定と評価の仕方に関する参観視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○児童生徒の実態と教材の特性を加味した課題の設定の仕方と、課題解決に対する評価の仕方を身に付ける。		
○教材教具の使用や学習の場の工夫に関する参観視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○提示資料や児童生徒が操作する教具の作成方法や提示の仕方、効果的な活用の工夫について理解する。		
○グループ学習に関する参観視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○グループ学習のねらいや方法、有効なグループングについて理解する。 ○共同探究とグループ学習のねらいの違いを知り、グループ学習の効果的な活用方法について理解する。		
○各教科のねらいや学習の進め方に関する参観視点	3～9	1 ・ 2 ・ 3	○各教科のねらいや授業実施時のポイントなどについて、様々な学年や学級の授業参観を通して理解する。		
○授業形態に関する参観視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○ティームティーチングや課題選択授業、習熟度別指導等の在り方について、様々な学年や学級の授業参観を通して理解する。		
○教科や領域との関連に関する参観視点	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○各教科間の関連や、道徳・特別活動・総合的な学習の時間との関連について、様々な学年や学級の授業参観を通して理解する。		

(4) 授業研究

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○自己課題の把握と年間計画作成の留意点	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○授業における自己の課題を踏まえ、授業研究の実施について年間研究計画を立てることができる。		指導教員等

○授業研究における基礎的要素の把握	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○公開授業において、「学習指導要領に基づき、子どもの言葉で単元や授業のねらいを表す」ことなど、基本的な目標を達成することを意識して行うことができる。	○自校の研究紀要 ○公開授業指導案 ○信州教育学びの基盤 ○信州“Basic” ○教育課程編成・学習指導の基本 ○信州型ユニバーサルデザイン研修シリーズ	指導教員等
○ねらい設定と授業のまとめの工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○授業の到達目標であるねらいを明確にした上で学習問題を検討すること、ねらいに対応したまとめを行うことを目指して授業を実践できる。		
○児童生徒の意欲を引き出す発問等の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○前回の授業の成果と課題を踏まえつつ、児童生徒の思考力を引き出すための課題の与え方、発問の仕方、作業手順の示し方等についての指導技術の向上に努めることができる。		
○授業構成の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○1単位時間の授業構成や、児童生徒の意識の流れを踏まえた展開を行うことができる。		
○学習形態の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○個別学習やグループ学習を機能的に生かすことができる教材を選択し、児童生徒相互の関わりや児童生徒の主体性を生かした学習の在り方を身に付ける。		
○学び方の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○個別学習やグループ学習に児童生徒が主体的に参加できるよう、学習の進め方に関する資料や計画表などを作成し、授業構成を工夫することができる。		
○ティームティーチングによる教授方式の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○授業研究を通じて、ティームティーチングにおける指導方法や教員同士及び外国語指導助手（ALT）との関わり方、児童生徒への指導の在り方等を理解する。		
○少人数指導や習熟度別授業の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○授業研究を通じて、課題選択授業、習熟度別指導等の在り方について、実践を通して指導力の向上に努めることができる。		
○教科間や他領域との関連指導の工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○教科や総合的な学習の時間などを複数教員で指導し、組織として学校教育目標や学年目標に迫る授業の在り方を身に付ける。		

4 外国語活動・外国語

(1) 外国語活動・外国語の意義

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○外国語活動・外国語の趣旨 ○外国語活動・外国語の目標及び内容	1	1	○外国語活動・外国語の趣旨を理解し、目標にある3本の柱と内容について理解できる。	○学習指導要領及び解説 ○小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック ○小学校外国語教育ガイドブック	外国語活動・外国語担当指導教員等

(2) 指導計画の作成

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○年間指導計画作成の留意点	1	1	○手引書等を参考にして、年間計画を児童の実態に寄せて作成することができる。	○学習指導要領及び解説 ○小学校外国語教育ガイドブック	外国語活動・外国語担当指導教員等
○単元指導計画及び1時間の指導計画の作成	2	1	○資料等を参考にして、単元や1時間の展開を児童の実態に寄せて作成することができる。 ○ALTとの効果的なTTについて、理解を深めることができる。	○信州教育学びの基盤 ○年間指導計画 ○教育課程編成・学習指導の基本	

(3) 授業実施の留意点

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○文部科学省作成教材・視聴覚教材の活用	1	1	○外国語活動(Let's Try!)のデジタル教材を使った活動や教材研究を通して、目標を達成するための授業をイメージできる。	○学習指導要領及び解説 ○小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック ○デジタル教材 ○教育課程編成・学習指導の基本	外国語活動・外国語担当指導教員等
○英語ブラッシュアップ	1	1	○Let's Try!や使用教科書の教材研究及びALTとのTTを通して、授業で使う教室英語を使うことができる。	○小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック	外国語活動・外国語担当指導教員等 ALT

5 道德教育

(1) 道德教育の基礎

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○学校の教育活動全体を通じて行う道德教育 ○道德教育の目標	1~2	1	○道德教育全体計画やその別業を使って学校教育目標と道德教育の目標の位置付け等を確認することを通して、道德教育は、学校で行われる全ての教育活動に関わるものであることを理解することができる。 ○道德教育は、学校の教育活動全体を通じて行われるものであり、その要となる時間として「道德科」が位置付けられていることを理解する。	○道德教育全体計画 ○学校要覧 ○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「特別の教科 道德」アシスト(1. 2. 3. 4. 5. 6)	道德教育推進教師 指導教員等
○道德教育の基本方針を具体化する方法	1	1	○学校のある地域や家庭の道德教育上の背景等を検討し、自校の道德教育の目標に基づく基本方針を具体化するための教育活動や指導の在り方等について理解する。	○学校要覧 ○道德教育全体計画 ○年間指導計画	
○道德教育の諸計画の具体的内容・計画作成、修正の仕方 ○計画作成、修正の仕方	2	1・2	○道德教育の全体計画、道德科の年間指導計画など、道德教育の諸計画の意義と相互の関連等について理解し、道德教育の全体像をとらえることができる。 ○学級における道德教育推進のための実態を踏まえた計画作成、修正の方法を身に付ける。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「特別の教科 道德」アシスト(1. 2. 3. 4. 5. 6)	

○日常指導の中での道徳教育の在り方 ○各教科等での道徳教育	2	1 ・ 2 ・ 3	○日常の学級経営等の中で行う道徳教育の在り方を考え、学級の実態に応じた日常指導の方法の具体化に努める。 ○別様を基に、各教科、領域等で行う道徳教育の実態を学校の事例から理解し、学年や学級の実態に応じた方法の具体化に努めることができる。	○私たちの道徳 ○「私たちの道徳」活用のための指導資料 ※必要に応じて文部科学省HPからダウンロードする。 ○「特別の教科 道徳」アシスト（1. 2. 3. 4. 5. 6）	道徳教育推進教師 指導教員等
○道徳科の授業の構成 ○学校の教育活動や家庭、地域での生かし方	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○道徳科の授業の在り方について理解することができる。 ○日常生活での活用、道徳科での活用、各教科等での活用、家庭や地域との交流の機会での活用等活用方法を理解し、児童生徒による活用を促すことができる。	○私たちの道徳 ○「私たちの道徳」活用のための指導資料 ※必要に応じて文部科学省HPからダウンロードする。 ○信州教育学びの基盤 ○「特別の教科 道徳」アシスト（1. 2. 3. 4. 5. 6）	

(2) 特別の教科 道徳の指導（道徳科）

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○主題構想の進め方 ○教材研究の仕方	2	1 ・ 2 ・ 3	○ねらいと教材と児童生徒の実態をもとに、授業の主題設定の仕方を身に付ける。 ○教材の読み取り方、分析の仕方などを、実際例をもとに進め、工夫できる。	○学習指導要領解説による内容項目の理解 ○教科書 ○教育課程編成・学習指導の基本	道徳担当 指導教員等
○道徳科学習指導案の作成の仕方 ○多様な展開の創意工夫	3	1 ・ 2 ・ 3	○教材の特性や児童生徒の実態を踏まえた授業全体の構想や学習過程の構成を考慮することができる。 ○発問の構想、板書計画、学習の場の工夫、学習カード等の工夫、教科書を生かした指導の工夫などを考えることができる。 ○多様な学習展開の方法を知り、作成した学習指導案を活用し弾力的な指導の工夫ができる。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「私たちの道徳」活用のための指導資料 ○私たちの道徳 ※必要に応じて文部科学省HPからダウンロードする。	
○道徳性の評価の意味 ○道徳の時間の指導の時間に関する評価の多様な方法	2～3	1 ・ 2 ・ 3	○道徳教育での児童生徒の評価の意義と方法について理解する。 ○道徳科についての数値によらない評価、児童生徒の見取り、実態把握などの方法について、授業記録等をもとに考え、身に付ける。	○教科書 ○「特別の教科 道徳」アシスト（1. 2. 3. 4. 5. 6）	
○授業構成、展開の工夫、雰囲気作りなどの参観視点 ○道徳科の特質の理解	1～3	1 ・ 2 ・ 3	○道徳科授業全体の構想から実施までの全体的な手順、教師の学級全体の把握、教師の働きかけなどについて理解する。 ○発問、個の生かし方、問題追求の方法等について、示範授業の実際をもとに他教科等との比較を通して指導の特質を理解する。	○自校の研究紀要 ○信州教育学びの基盤 ○「私たちの道徳」活用のための指導資料	
○道徳科授業研究における基礎的要素と自己課題 ○授業構成や活動の全体的な工夫	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○授業の意図の指導案への示し方、児童生徒の学習の様子についての記録の取り方、指導上の課題の見つけ方等、道徳科の授業研究の基礎的要素を押さえ、それを意識しながら授業を行うことができる。 ○1単位時間の授業構成や、児童生徒の意識の流れを踏まえた展開を行い、指導技術の向上に努めることができる。	○私たちの道徳 ○教科書 ○「特別の教科 道徳」アシスト（1. 2. 3. 4. 5. 6）	

○発問や児童生徒の学び方、学習形態等の工夫 ○指導体制や他教科等との関連的指導の工夫	1～4	1・2・3	○児童生徒が道徳的価値の理解を深めるための発問、発言の集約の仕方、個別学習の組み込み方、グループ学習等の学び合いの工夫等について、実践を通して身に付ける。 ○ティームティーチングや地域講師の参画による指導、または、他教科や体験活動等との関連を意識した指導に重点を置いて授業を進め、指導力の向上に努めることができる。	○自校の研究紀要 ○信州教育学びの基盤 ○「私たちの道徳」活用のための指導資料 ○私たちの道徳 ○教科書 ○「特別の教科 道徳」アシスト（1. 2. 3. 4. 5. 6）	道徳担当 指導教員等
---	-----	-------	--	---	---------------

6 特別活動

(1) 特別活動の教育的意義・指導計画・授業の実践

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○特別活動の目標や教育的意義の理解とその重要性の認識	1～2	1・2	○「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」が、特別活動において育成すべき資質・能力の重要な視点になっていることを理解する。 ○特別活動では、各教科等で育成した資質・能力を、集団や自己の課題の解決に向けた実践の中で活用することにより、実生活で活用できるものにする役割を果たすものであることを理解する。	○学習指導要領及び解説 特別活動編 ○特別活動に関するレポート及び協議 ○みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）リーフレット版 ○信州教育学びの基盤等	特別活動 担当 指導教員等
○特別活動の各内容のそれぞれのねらいや特質の理解	1～2	1・2	○学級活動（1）（2）（3）、児童会・生徒会活動（代表委員会活動、委員会活動、集会活動）、クラブ活動（計画、運営に関する話し合い活動、共通の興味・関心を高める活動、成果を発表する活動）、学校行事（儀式的行事、文化的行事、健康安全・体育的行事、遠足（旅行）・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事）の各ねらいや特質を理解する。	○学習指導要領及び解説 特別活動編 ○信州教育学びの基盤 ○みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）リーフレット版	他学級の 担任 特別活動 担当 指導教員等
○多様な他者と協働する様々な集団活動の理解	1～2	1・2	○集団活動の指導は、指導法によって、児童生徒にプラスにもマイナスにも作用することを知り、「多様な他者と協働する集団活動」の条件やそのための指導方法を理解する。	○実践事例	
○全体計画と年間指導計画の立案と活用する方法	1～2	1・2	○特別活動の全体計画や各活動及び学校行事の年間指導計画が全教職員によって作成される手順を理解し、その指導計画に即して全校の教師による協力的な指導が重要であることを認識する。		
○学級活動(1)の授業参観と研究協議	1～4	1	○他学級の学級活動(1)の授業を参観し授業改善の視点を理解し自己の授業改善に生かす。 ○想定される議題を設定し、授業参観から学んだことを具体的に生かして学級活動(1)の指導と評価の計画を作成し、授業ができる。	○学級活動(1)の指導案	
○学級活動(2)、(3)の授業参観と研究協議	1～4	2・3	○他学級の学級活動(2)、(3)の授業を参観し授業改善の視点を理解し、自己の授業改善に生かすことができる。 ○自校の学級活動(2)、(3)の年間指導計画の中から題材を選んで、授業参観から学んだことを具体的に生かして、指導と評価の計画を作成して授業ができる。	○示範授業 ○学級活動年間指導計画 ○学級活動(2)(3)指導案の作成 ○指導用資料作成 等	

(2) 学級活動の指導と評価

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○学級活動(1)の学習過程における指導と評価	1～2	1・2	○学校、学級において、よりよい生活をつくるために、児童生徒が自発的、自治的に課題を見だし、話し合いを通して合意形成を図り、協力して実践するための指導と評価の在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○学習指導要領及び解説 特別活動編 ○信州教育学びの基盤 ○模擬学級会 ○みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)リーフレット版 等	学級活動担当 指導教員等
○計画委員会の指導と評価	1～2	1・2	○学級生活の充実と向上を目指してよりよい話し合い活動にするための計画委員会の組織づくりや事前指導の在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○学習指導要領及び解説 特別活動編 ○信州教育学びの基盤 ○模擬計画委員会 ○みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)リーフレット版 等	
○係活動の組織づくりと計画立案の留意点	1～2	1・2	○学級生活の充実と向上に寄与する係の活動にするための組織づくりや日常の指導の在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○係活動の計画用紙 ○評価カード 等	
○集会の活動の計画立案と協力的な活動	1～2	2・3	○学級生活の充実と向上を実感できる集会の活動にするための計画立案や協力的な活動の指導の在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○学級集会活動計画	
○学級活動(2)、(3)の学習過程における指導と評価	1～2	2・3	○話し合いを通して、児童生徒が自主的、実践的に自己の課題解決方法などについて意思決定したり、将来に向けた自己実現について考えたりするための指導と評価の在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○学習指導要領及び解説 特別活動編 ○信州教育学びの基盤 ○みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)リーフレット版 ○模擬授業 等	

(3) 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○児童会・生徒会活動の指導と評価の工夫改善	1～3	1・2	○各種委員会活動の組織づくりと児童生徒による活動計画立案の指導と評価、異年齢集団活動のよさを生かした代表委員会活動、委員会活動、児童会・生徒会集会活動又は生徒会活動の指導と評価、及び児童会集会活動や生徒会の諸活動への参加の指導と評価などの在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○委員会指導計画の作成 ○委員会活動ノートの作成 ○評価カードの作成 等	児童会・ 生徒会担当 等
○クラブ活動の指導と評価の工夫改善	1～3	1・2	○クラブ活動の組織づくりと児童による活動計画立案の指導と評価や異年齢集団活動のよさを生かした共通の興味・関心を追究する活動、成果を発表する活動の指導と評価などの在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○クラブ指導計画の作成 ○クラブ活動ノートの作成 ○評価カードの作成 等	クラブ活動 担当 等
○学校行事の計画立案や指導と評価の工夫改善	1～3	2	○学校行事の計画立案や安全への配慮について理解し、児童生徒が主体的に参加できるようにする指導と評価の在り方について考え、具体的に工夫改善できる。	○学校行事の活動計画作成	教務主任等
○集団宿泊的行事の運営と指導	6～12	1・2・3	○役割分担、野外活動やレクリエーションなどの指導や工夫について考え、指導に生かすことができる。	○学年での宿泊行事活動計画作成及び指導	学年主任等

7 総合的な学習の時間

(1) 趣旨・ねらい

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○総合的な学習の時間の趣旨	1～2	1	○総合的な学習の時間改訂の趣旨及び要点を理解する。 ○総合的な学習の時間の教育課程上の位置付けを理解する。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料	総合的な学習の時間担当者 指導教員等
○総合的な学習の時間の指導のねらい	1～2	1	○育成を目指す資質・能力について理解する。 ○学習指導要領に示されている学習指導の基本的な考え方について理解する。(探究的な学習)	○教育課程編成・学習指導の基本 ○今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)	

(2) 全体計画及び年間指導計画の作成

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○総合的な学習の時間の全体計画の作成の必要性	2～3	1・2・3	○全体計画の作成が必要なことを総合的な学習の時間の趣旨やねらいとの関連の中で理解する。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 ○教育課程編成・学習指導の基本 ○今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)	指導教員等
○全体計画の内容及び年間指導計画との違い			○全体計画において示す必須の3つの要件について理解する。 ○学校の全体計画を踏まえて、学年や学級の具体的な年間指導計画を作成することを理解する。 ○各教科、道徳、特別活動との関連、学年間や学校段階間の指導との関連に十分配慮した年間指導計画を作成できる。		
○コーディネーターの役割			○年間指導計画作成に当たって、学校として総合的な学習の時間に組織的に取り組むための企画・調整を担うコーディネーターの必要性や役割について理解する。		
○全体計画及び年間指導計画の取扱い			○計画、実施、評価、次年度の計画の改善という一連の取組を着実にを行うことを理解する。 ○学習活動の展開に当たっては、児童生徒の追究の様子や地域とのかかわり方により、必要に応じて全体計画や年間指導計画を適宜見直していくことを理解する。 ○年間指導計画は、全体計画を踏まえ、学年や学級において学習活動の見通しをもつために構想したものであることを理解する。		

(3) 学習活動の進め方

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○教師の適切な指導による学習活動の展開	2～4	1・2・3	○児童生徒が、自らの課題意識や興味・関心に基づき、学習活動を選択・設定できるように展開の仕方を工夫改善できる。 ○児童生徒を主体とした創意工夫を生かした学習活動を展開しながら、学習の場面に応じた教師の適切な指導の仕方を身に付ける。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料	指導教員等
○体験的・探究的な学習の仕方	2～4	1・2・3	○問題解決的な活動が発展的に繰り返される探究的な学習となるために、「探究の過程」を意識した学習展開を工夫できる。 ○学習活動の展開に当たっては、児童生徒をはじめ教職員や外部の協力者などの安全確保、健康や衛生等の管理に十分配慮することを理解する。	○教育課程編成・学習指導の基本 ○今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)	

○学習形態、指導体制の工夫	2～3	1 ・ 2 ・ 3	○グループ学習や異年齢集団での学習など学習形態の工夫や外部人材の活用、協働的に学ぶ指導の仕方を身に付ける。		
○地域の多様な教育資源の積極的な活用の仕方	2～6	1 ・ 2 ・ 3	○様々な教育機関や事業所、各種団体等を積極的に活用するために必要な資料の整備や連携の方法について身に付ける（カリマネの視点）。 ○教師自身がフィールドワーク等を通じて、地域を深く理解し、その教材化に努めることができる。 ○取組内容の不断の検証の中で、地域の教育資源の積極的な活用について工夫できる。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 ○教育課程編成・学習指導の基本	指導教員等
○探究課題の設定について	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○教育的に価値ある探究課題を各学校の判断で内容として設定していく。 ①現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題 ②地域や学校の特色に応じた課題 ③児童生徒の興味・関心に基づく課題 が考えられることを理解する。自己の生き方とのかかわりで考え続け、よりよい解決を目指して行動する姿を育む指導の仕方、工夫を考える。	○今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）	

(4) 評価の特質と評価方法

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○評価の特質	1～2	1	○学習評価については次の事項に配慮することを理解する。 ・児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価する。 ・学年や学校段階を越えて児童生徒の学習の成果が円滑に接続されるように工夫する。	○学習指導要領及び解説 ○信州教育学びの基盤 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 ○今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）	指導教員等
○評価の方法と生かし方	3～5	1 ・ 2 ・ 3	○評価には、教師による評価、児童生徒の自己評価や相互評価など、多様な方法があることを理解する。 ○児童生徒のワークシート、ノート、絵、レポートなどの製作物、発表や話し合いの様子などから、多面的に評価する方法や評価を生かした指導の仕方を身に付ける。		

8 生徒指導・キャリア教育・ICT活用

(1) 生徒指導

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○生徒指導の意義生徒指導をめぐる状況と今日的課題	1～3	1	○生徒指導が今日抱えている課題状況について理解する。 ○生徒指導に関係する法律等にはどのようなものがあるか具体的な事例を通して理解する。		生徒指導主事 生徒指導担当 学年主任
○児童生徒観・人間観 ○児童生徒理解の対象と立場 ○診断的理解と共感的理解 ○児童生徒理解のための資料 ○児童生徒理解を基盤とした生徒指導	1～3	1 ・ 2	○児童生徒観、人間観を探究し、児童生徒理解に関する基礎的な知識を身に付ける。特に研修に当たっては共感的理解の大切さについて理解を深め、技術の獲得を図る。 ○社会の変化を踏まえ、児童生徒像を明確にすることができる。	○生徒指導提要 ○初任者研修のために ○長野県教育委員会ホームページ「教職員向け情報」指導資料 ○長野県総合教育センターホームページ	相談室担当 特別支援教育 コーディネーター 指導教員等

○コミュニケーションの技術 ○教師のリーダーシップ ○体罰と懲戒、出席停止 ○子どもの人権	1～3	1・2	○教員と児童生徒のコミュニケーションの図り方やリーダーシップの発揮に関する技術を身に付ける。 ○体罰と懲戒を中心に日常の指導事例を踏まえて具体的な指導の在り方、法令に基づく出席停止制度の適切な運用の在り方を理解する。特に、ほめることの効果、体罰の与える影響、児童生徒の人権などについて理解する。	○生徒指導提要 ○初任者研修のために ○長野県教育委員会ホームページ「教職員向け情報」指導資料 ○長野県総合教育センターホームページ	生徒指導担当 学年主任 相談室担当 特別支援教育 コーディネーター 指導教員等
○校則 ○賞と罰の考え方と方法	1～4	2・3	○初任者の学級の事例をもとにして、賞罰の教育的意味を理解し、具体的な方法を身に付ける。特に、集団の規律と個人の行動との関連を踏まえ、望ましいほめ方・しかり方について理解する。		
○学級活動等の指導と工夫 ○生徒指導・教育相談の実際 ○児童生徒理解の内容と方法	1～4	2・3	○学校生活への適応や人間関係の形成などについて、ガイダンスの機能を生かした学級活動等の具体的な指導の在り方を理解する。 ○学校における生徒指導・教育相談の在り方について、基礎的な知識や技術を身に付ける。 ○生徒指導・教育相談に関する年間計画の作成を通して、その進め方についての心構えや技術を身に付ける。 ○児童生徒理解に必要な心理検査の活用、観察・指導の理論と実際、個人資料の収集・解釈及び活用などについて理解を深めるとともに、知識や技術を身に付ける。 ○スクールカウンセラーとの連携の在り方について、事例等を基に議論を重ねながら、効果的な連携の方策について理解する。 ○不登校について、事例等を基に議論を重ねながら、適切な対応の方策を導き出す手法について理解する。		
○社会奉仕体験活動等、体験活動の意義 ○社会奉仕体験活動等、体験活動の指導と工夫	1～4	1・2	○勤労や生産に関わる体験的な活動、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験等についての意義を理解するとともに、学校や地域社会の実態及び児童生徒の発達段階に基づいた活動を行う上で必要な知識を身に付ける。 ○社会奉仕体験活動等、体験活動の全体計画の作成を実習する。	○全国体験活動、ボランティア活動総合推進センター（国立教育政策研究所）ホームページ	指導教員等
○自己指導能力の育成 ○人間関係形成能力の育成	1～4	1・2	○社会的自立に向けた自己指導能力の育成の方策について理解する。 ○望ましい人間関係の在り方、その形成のための方策について具体的に理解する。	○初任者研修のために ○長野県教育委員会ホームページ「教職員向け情報」指導資料 等	生徒指導担当 指導教員等
○学校、学級内における問題行動の指導の在り方	1～3	2・3	○いじめ、暴力行為、不登校や中途退学など生徒指導上の諸問題について、初任者の学年や学級の事例等を基に議論を重ねながら、学校や学級内における問題行動等への対応の方策を導き出す手法を理解する。		
○生徒指導体制の意義 ○生徒指導における共通理解 ○生徒指導全体計画の作成における留意点 ○生徒指導組織 ○生徒指導と学級担任 ○生徒指導に関する評価 ○生徒指導と教育課程の関係	1～3	1・2・3	○生徒指導の充実を図るには、生徒指導を組織的に進めることの重要性や生徒指導の望ましい在り方について共通理解が必要であることを理解する。特に、生徒指導の全体計画、組織、教育課程と生徒指導、生徒指導に関する評価などについて理解を図ることを通して、学級担任としての自己の位置を確認する。		

○生徒指導を進めるに当たっての家庭・地域や関係機関との連携の在り方 ○生徒指導上の諸課題	1～2	1・2・3	○家庭・地域や関係機関との行動連携による問題行動の予防や解決と、児童生徒の健全育成に向けた横断的な取組等について理解する。 ○家庭・地域への情報発信等についての方法等の実際の手法を習得するとともに、家庭・地域への説明責任の重要性について理解する。 ○児童生徒の問題行動や児童虐待等の状況並びに社会的背景や各種の施策や取組に関する資料等の分析を行い、課題解決策を検討し、自校の取組に生かすことができる。	○初任者研修のために ○長野県教育委員会ホームページ「教職員向け情報」指導資料等	生徒指導担当 指導教員等
○レポートのまとめ方 ○年間の反省 ○発表の仕方 ○課題意識の発展のさせ方	1～2	3	○課題意識を基にレポートを作成する。レポートの書き方を身に付ける。授業研究の進め方との関連を踏まえて、技術を確かなものとするができる。 ○年間の研修について体験をまとめ、より課題意識を高め、発展を図ることができる。	○レポートの作成 ○実践事例等	生徒指導担当 指導教員等

(2) キャリア教育

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○キャリア教育の意義 ○キャリア教育をめぐる状況と今日的課題	1～3	1・2・3	○キャリア教育の定義や必要性を社会的背景との関連で理解する。 ○キャリア教育で育成する資質・能力について理解する。 ○キャリア教育の今日的課題について理解する。	○動画「今後の学校におけるキャリア教育の在り方について」(文科省ホームページ) ○キャリア教育の手引き ○長野県キャリア教育ガイドライン ○教育課程編成・学習指導の基本	キャリア教育担当 進路指導担当 指導教員等
○キャリア教育の事例研究 ○キャリア教育の授業研究	1～4	1・2・3	○各教科・領域等における指導事例を基に、指導の内容や授業展開等の実際について理解する。 ○学級活動(3)の内容を視野に入れながら、各教科・領域等において、キャリア教育の視点に基づいた授業づくりを行うことができる。	○長野県キャリア教育実践事例集 ○キャリア教育の手引き ○教育課程編成・学習指導の基本 ○教育指導時報	
○進路情報の収集、活用する方法	1～2	1・2・3	○進路情報の種類、情報の収集・整備・活用・保管、情報の提供とその内容などについて理解する。	○同中間取りまとめを踏まえた生徒指導・進路指導の確認について(通知) ○自校の進路指導資料集	
○職業や進路に関わる体験活動の意義 ○職業や進路に関わる体験活動の計画と工夫	1～3	1・2・3	○望ましい勤労観や職業観を育成するための職業や進路に関わる啓発的な体験活動の意義を理解する。 ○事前事後指導等を含んだ体験活動の計画の作成と指導の実際について理解する。	○自校の職場体験学習等体験活動の計画案 ○キャリア教育の手引き ○教育指導時報	
○キャリア教育の全体計画と年間指導計画 ○キャリア教育推進の組織 ○キャリア教育と学級担任 ○キャリア教育に関する評価	1～3	1・2・3	○キャリア教育の充実を図るには、全職員の共通理解に基づく組織的、計画的な推進が重要であることを理解する。特に、キャリア教育の全体計画、年間指導計画、校内組織等が学級活動(3)の内容や総合的な学習の時間の全体計画と関連があることを理解する。また、キャリア教育に関する評価や学級担任の望ましい支援の在り方などについて理解する。 ○小学校、中学校、高等学校を通じて、系統的にキャリア教育を進めることの重要性について理解する。	○学校運営計画 ○文科省パンフレット ・「キャリア教育を創る」 ・「キャリア教育をデザインする」 ・「キャリア教育が促す学習意欲」 ・「子供たちの見取りと教育活動の点検」 ・「語る・語らせる・語り合わせるで変える！キャリア教育」 ○キャリア教育の手引き ○教育指導時報	キャリア教育担当 進路指導担当 指導教員等

○学級活動等の指導と工夫 ○教育相談、キャリアカウンセリングの実際 ○児童生徒理解の内容と方法	1～4	1 ・ 2 ・ 3	○学級活動等における、学校への適応や人間関係の形成、学習の仕方や進路の選択などについて、指導の在り方を理解する。 ○学校における教育相談、キャリアカウンセリングの在り方について、基礎的な知識や技術を身に付ける。 ○児童生徒理解に必要な心理検査の活用、観察・指導の理論と実際、個人資料の収集・解釈及び活用などについて実践的に理解する。	○文科省パンフレット ・「キャリア教育が促す学習意欲」 ・「語る・語らせる・語り合わせるで変える！キャリア教育」 ○教育指導時報	キャリア教育担当 学年主任 相談室担当 指導教員等
○学びをつなぐ「キャリア・パスポート」の理解	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○キャリア・パスポートの理念を知ると共に、キャリア・パスポートの活用の仕方を理解する。 ○自校等のキャリア・パスポートの実践事例を把握する。	○長野県キャリア教育ガイドライン	キャリア教育担当 学年主任 相談室担当 指導教員等
○キャリア教育を進めるに当たっての家庭・地域や関係機関との連携の在り方	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○職業や進路に関わる啓発的な体験活動を進めるに当たって、家庭・地域や関係機関及び校種の効果的な連携の在り方について理解する。 ○学校と地域が願いを共有しながら、一体となって子どもを育てることの重要性と、その仕組みづくりについて理解する。	○長野県キャリア教育ガイドライン ○長野県教育委員会ホームページ(信州型コミュニティスクール関係資料)	地域連携担当 キャリア教育担当 進路指導担当 学年主任 指導教員等
○レポートのまとめ方 ○年間の反省 ○発表の仕方 ○課題意識の発展のさせ方	1～2	3	○課題研究の進め方との関連を踏まえて自分の課題意識を基にレポートを作成することを通してレポートの書き方を身に付ける。 ○年間の研修についての体験をまとめ、より課題意識を高め発展を図ることができる。	○レポートの作成 ○実践事例 等	指導教員等
【キャリア教育研修資料リンク】 ・長野県総合教育センターHP－教育情報－キャリア教育－研修用資料にプレゼンテーションや長野県教育委員会 HP・文部科学省 HP へのリンクがあります。 ・文部科学省 HP－教育－小学校、中学校、高等学校－キャリア教育－先生応援ページ 1・2					

(3) ICT活用

研修内容	研修時間	学期	研修の目標(身に付けたい資質・指導力)	研修の手だて・資料	研修担当者例
○教師のICT活用指導力の重要性	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○「ICTを活用した教育」について理解する。 ・ ○「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」について理解する。 ・ ○広い視点でのICT活用の必要性を知ることと、最近のICTに関する国の事業の動きを知る。	○「GIGA スクール構想の実現について」(文科省ホームページ) ○「教育の情報化に関する手引-追補版-」 ○「長野県 1人1台端末導入ガイドライン」 ○長野県 ICT 教育推進センターホームページ	情報教育担当 校内研修リーダー 指導教員等
○教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力の向上	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○校内の校務システムについて理解する。 ○教材研究・指導の準備の仕方について理解する。	○GIGA スクールやってみよう!!スタートガイド(長野県 ICT 教育推進センター) ○クラウドを用いて実現する「主体的・対話的で深い学び」マンダラチャート(長野県 ICT 教育推進センター) ○「GIGA スクール構想の実現について」(文科省ホームページ) ○「教育の情報化に関する手引-追補版-」 ○長野県 ICT 教育推進センターホームページ	情報教育担当 校内研修リーダー 教科主任 指導教員等

○授業にICTを活用して指導する能力の向上	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○先進・優良事例の動画を視聴し、授業での活用方法について理解する。 ○授業設計における機器・教材選択のポイント、最小限の準備で、日々活用するためのポイントについて理解する。 ○グループで話し合って考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを製作したりする際の、効果的な活用方法を理解する。 ○教材の著作権について理解する。	○「GIGA スクール構想の実現について」(文科省ホームページ) ○「教育の情報化に関する手引-追補版-」 ○「NHK FOR SCHOOL」等の動画資料 ○デジタル教科書 ○公益社団法人著作権情報センター ○長野県 ICT 教育推進センターホームページ ○StuDX Style (文部科学省) ○GIGA スクールやってみよう!! スタートガイド (長野県 ICT 教育推進センター) ○クラウドを用いて実現する「主体的・対話的で深い学び」マンダラチャート(長野県 ICT 教育推進センター)	情報教育担当 校内研修リーダー 教科主任 指導教員等
○児童生徒のICT活用を指導する能力の向上	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○学習活動に必要なコンピュータなどの基本的な操作技能を児童生徒が身につけられるように指導する方法を理解する。 ○児童生徒がお互いの考えを交換し共有して話し合いができるようにコンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導できる方法を理解する。	○「GIGA スクール構想の実現について」(文科省ホームページ) ○「教育の情報化に関する手引-追補版-」 ○長野県 ICT 教育推進センターホームページ ○StuDX Style (文部科学省) ○クラウドを用いて実現する「主体的・対話的で深い学び」マンダラチャート(長野県 ICT 教育推進センター)	情報教育担当 校内研修リーダー 教科主任 指導教員等
○情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力の向上	1～2	1 ・ 2 ・ 3	○児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する方法を理解する。 ○児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する方法を理解する。	○「GIGA スクール構想の実現について」(文科省ホームページ) ○「教育の情報化に関する手引-追補版-」 ○「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」(文科省ホームページ) ○情報モラル授業プログラム (各種団体)	情報教育担当 校内研修リーダー 指導教員等

この冊子は、小学校・中学校・特別支援学校初任者研修の資料として作成したものです。校内研修の一層の充実のために活用してください。

問い合わせ先：

長野県総合教育センター教職教育部 初任者研修担当